

ETAS HSP V13

ハードウェアサービスパック



入門ガイド

著作権について

本書のデータを ETAS GmbH からの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbH は、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約あるいは単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複製はその契約で明記されている場合に限り、認められません。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbH からの書面による許可を得ずに、複製、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© Copyright 2023 ETAS GmbH, Stuttgart

本書で使用する製品名および名称は、各社の（登録）商標あるいはブランドです。

HSP V13 - 入門ガイド JP - R 2023-09

目次

1	はじめに	4
1.1	リリースノート	4
1.2	製品概要	4
1.2.1	製品の構成	4
1.2.2	製品の主な機能	5
1.3	ユーザー情報	6
1.3.1	対象ユーザー	6
1.3.2	HSP オンラインヘルプ – クイックガイド	6
2	プログラムのインストール	7
2.1	概要	7
2.1.1	プログラムファイルと Windows ユーザー権限	7
2.1.2	システム要件	7
2.1.3	制限事項	7
2.1.4	サポートされている ETAS ハードウェア	7
2.2	インストール	8
2.2.1	HSP アップデートツール (HSP-UT) のインストール	8
2.2.2	HSP サービスパッケージ (HSP-SP) のインストール	8
2.3	LAN についてのサポート機能	9
2.4	アンインストール	10
2.4.1	HSP サービスパッケージ (HSP-SP) のアンインストール	10
2.4.2	HSP アップデートツール (HSP-UT) のアンインストール	10
3	HSP アップデートツールの操作	11
3.1	HSP アップデートツール (HSP-UT) の起動	11
3.2	HSP アップデートツールウィンドウ (メインウィンドウ)	11
3.3	更新の手順	12
3.4	ファームウェアの状態の文書化	12
3.4.1	ファームウェアステータスログファイル	12
3.4.2	ファームウェアヒストリログファイル	12
3.5	ドライバのインストール	13
4	一般的なトラブルシューティング	14
4.1	ハードウェア用のネットワークアダプタを確認する方法	14
4.2	イーサネットが認識され動作しているかの確認方法	14
4.3	ネットワークアダプタの設定を確認する方法	15
4.4	ETAS ネットワーク設定を確認する	16
4.5	Ping コマンドでネットワークカードの接続確認をする	16
4.6	Ping コマンドでハードウェアの接続確認をする	17
4.7	APIPA が表示されない	17
4.7.1	ネットワークマネージャでネットワークアダプタを選択できない	18
4.7.2	イーサネットハードウェアの検出に失敗する	18
5	お問い合わせ先	20
	索引	21

1 はじめに

HSP (Hardware Service Pack : ハードウェアサービスパック)は、ETASハードウェアのファームウェアの管理を行うためのツールです。ハードウェアに新しい機能を追加することもできます。HSPが稼動するPCにETASハードウェアを接続することにより、以下のような処理が可能となります。

- 現在インストールされているファームウェアのバージョンチェック
- 現在インストールされているファームウェアの互換性チェック
- ファームウェアのアップデート/ダウングレード
- 更新履歴の取得

1.1 リリースノート

HSPの各バージョンに含まれる新機能や新製品のサポート、ファームウェアサポートなどに関する情報は、HSPアップデートツールのメニューから、ヘルプ>リリースノート：**HSPサービスパッケージ**、ヘルプ>リリースノート：**HSPアップデートツール**を参照してください。

1.2 製品概要

1.2.1 製品の構成

HSP (ハードウェアサービスパック) は、ETASハードウェアのファームウェア管理を行うためのツールです。HSPは以下の2つの主要なパートで構成されています。

- HSPアップデートツール (HSP-UT : HSP Update Tool)
- HSPサービスパッケージ (HSP-SP : HSP Service Package、LABCAR-FWP)

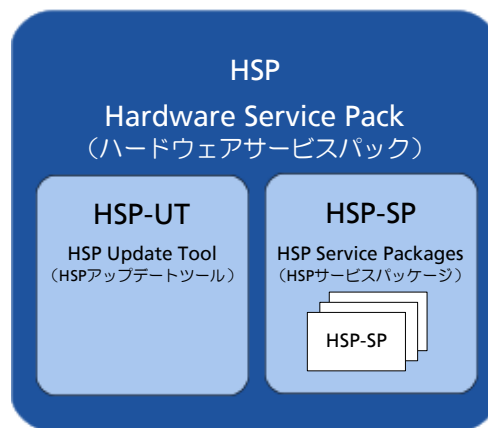


Fig 1-1 HSP (ハードウェアサービスパック) の製品構成

HSPアップデートツール (HSP-UT) は、ファームウェアの更新処理を行うために使用できます。このツールによって、接続中のETASハードウェアのコンポーネントのファームウェアの状態を確認することもできます。このツールでサポートされているETASハードウェアモジュールの種類については、ご利用中のHSPアップデートツールに添付されているリリースノートを参照してください。

HSPサービスパッケージ (HSP-SP) には、各ハードウェアに実際にダウンロード可能なファームウェアなどが含まれています。

HSPアップデートツール (HSP-UT) またはいずれかのHSPサービスパッケージ (HSP-SP) の内容が更新されると、HSPのバージョンが変更されます。

1.2.2 製品の主な機能

HSPアップデートツールの主な機能は、以下のとおりです。

- 接続された複数のハードウェアシステムから、現在インストールされているファームウェアの詳細な情報を取得できます。
- ファームウェアとソフトウェアの互換性に関する詳細な情報を確認できます。
- 製品グループを選択した後、3ステップの簡単な操作でファームウェアアップデートを実行できます。
- 検索されたハードウェアシステムの中から、更新を行うシステムを任意に選択できます。
- ファームウェアのステート（状態）が明快なシンボルで表示されます。
 - システム全体としてのステート
 - 各システム上にある、更新の対象となる各コンポーネントの個別のステート
- ステートを表すシンボルは、更新処理の進行に従って逐次更新されます。
- 1回の更新処理で、最大64システムの更新を行えます。
- 更新の処理内容がログファイルに記録されます。
- プログラムウィンドウ内部の配置を任意に変更できます。
- オンラインヘルプで詳細情報を確認できます。

6 | はじめに

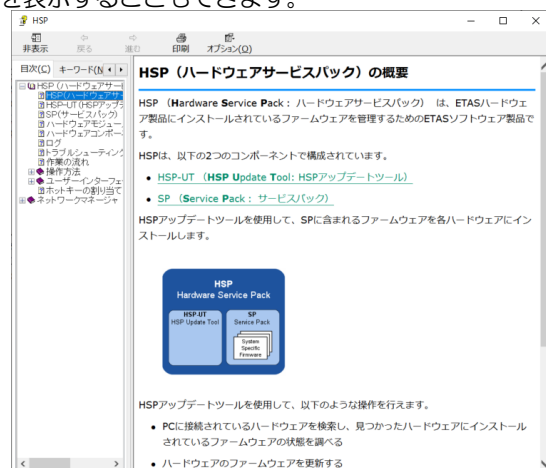
1.3 ユーザー情報

1.3.1 対象ユーザー

本書の記述は、ECUの開発や適合作業の経験がある方を対象としています。

1.3.2 HSPオンラインヘルプ – クイックガイド

ヘルプメニューからヘルプをクリックすると、オンラインヘルプが表示されます。また、<F1>キーを押して現在の操作（またはアクティブなサブウィンドウ）に関するヘルプトピックを表示することもできます。



ヘルプメニューからは以下の項目も表示できます。

ヘルプ > HSP 入門ガイド... (本書)

ヘルプ > クイックスタート...

ヘルプ > シンボル...

ヘルプ > テクニカルサポート...

ヘルプ > サポートされているハードウェア...

ヘルプ > オープンソースソフトウェアについて...

ヘルプ > リリースノート: HSPサービスパッケージ

ヘルプ > リリースノート: HSPアップデートツール

ヘルプ > 製品情報

2 プログラムのインストール

2.1 概要

2.1.1 プログラムファイルと Windows ユーザー権限

メインイントーラ (HSP)

HSPのメインイントーラファイルは、HSP-UTとHSP-SPを含むHSP (ハードウェアサービスパック) をインストールするものです。



注記

HSP をインストールするには、Windows の管理者権限が必要です。

サービスパッケージイントーラ (HSP-SP)

互換性のあるバージョンのHSPがPCにインストールされている場合は、標準ユーザーであっても、サービスパッケージイントーラファイルを用いてHSPサービスパッケージ (HSP-SP) を追加インストールすることができます。



注記

HSP サービスパッケージのインストールは、Windows の標準ユーザー権限で行えます。

2.1.2 システム要件

詳細は、HSP Update Toolのリリースノートを参照してください。

2.1.3 制限事項

複数のアプリケーションの使用

HSPでETASハードウェアの更新を行っている間は、ETASアプリケーションからハードウェアにアクセスすることはできません。

Windows のユーザー権限

Windowsのユーザー権限に関する制限事項は、2.1.1項 (7ページ) を参照してください。



注記

特定のハードウェアコンポーネントを使用する際に発生する制限事項については、HSP Update Tool リリースノートを参照してください。

2.1.4 サポートされている ETAS ハードウェア

サポートされているハードウェアについて詳しくは、HSPアップデートツールからヘルプ > サポートされているハードウェアを選択して表示される情報を参照してください。

2.2 インストール

2.2.1 HSP アップデートツール (HSP-UT) のインストール



注記

HSP のメインインストーラで HSP をインストールするには、Windows の管理者権限が必要です。

HSPのメインインストーラの起動：

- HSP インストールパッケージに含まれるメインインストーラファイル `setup.exe` をダブルクリックします。
- ウィザードの画面に表示される指示に従ってインストールを行います。



注記

HSP インストーラで選択した GUI 用言語は、多言語対応の ETAS アプリケーションに共通の設定として適用されます。

2.2.2 HSP サービスパッケージ (HSP-SP) のインストール

互換性のあるバージョンの HSP が、PC にインストールされている場合は、Windows の標準ユーザーの権限のみで HSP サービスパッケージ (HSP-SP) を追加インストールすることができます。

HSP サービスパッケージは、PC を使用するすべてのユーザーが使用することができます。つまり、どのユーザーも、HSP アップデートツールを使用する際、インストールされているすべてのパッケージを選択することができるということです。

HSP サービスパッケージのインストーラファイルの拡張子は `*.spi` です。

HSP サービスパッケージは、以下の3つの方法で、選択/インポート/インストールできます。

- Windows エクスプローラで HSP-SP ファイル `*.spi` をダブルクリック
- HSP アップデートツールで `ファイル > サービスパッケージのインポート` を選択
- HSP アップデートツールで `ツール > サービスパッケージ マネージャ > インポート` を選択



注記

HSP サービスパッケージの扱いについての詳細情報は、HSP のオンラインヘルプに記載されています。

2.3 LANについてのサポート機能

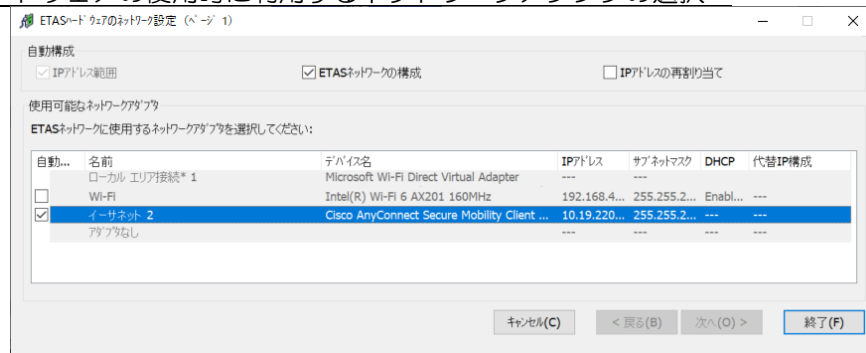
HSP は、INCAと同等の高度なLAN機能をサポートしているので、以下のようなさまざまな方法によりイーサネット経由でハードウェアシステムにアクセスできます。

- 複数のネットワークアダプタ（イーサネットカード）を使用
 - 社内 LAN 用アダプタ
 - ETAS ハードウェア用アダプタ
- 1つのネットワークアダプタを共有
 - 社内 LAN と ETAS ハードウェアとを自動的に切り替え

HSPを使用する際は、ETASネットワークマネージャを使用して、PCのネットワーク構成をETASハードウェアに合わせておく必要があります。

ネットワークマネージャの起動：

- HSP のメインウィンドウで、**ツール > ETAS ネットワークの設定 ...** を選択します。ETAS ハードウェアのネットワーク設定が表示されます。

ハードウェアの使用時に利用するネットワークアダプタの選択：

- "使用可能なネットワークアダプタ" フィールドで、使用するネットワークアダプタを選択します。
- その他、必要な設定を行います。
- 終了 をクリックします。

2.4 アンインストール

2.4.1 HSP サービスパッケージ (HSP-SP) のアンインストール



注記

HSP サービスパッケージをアンインストールするには、Windows の管理者権限が必要です。

HSPに含まれているHSPサービスパッケージマネージャを使用すると、HSP-UTをアンインストールすることなく、すべてのユーザーが選択したHSPサービスパッケージの各バージョン(過去にリリースされたサービスパッケージ)を削除できます。

HSP サービスパッケージ (1つまたは複数) を削除するには：

- HSP のプログラムで、**ツール > サービスパックマネージャ**を選択します。
- パッケージを選択します。(複数選択可)
- **アンインストール**を選択します。

2.4.2 HSP アップデートツール (HSP-UT) のアンインストール



注記

HSP (HSP-UT とすべての HSP-SP ファイル) をアンインストールするには、Windows の管理者権限が必要です。

以下は、HSP Update Toolおよびインストール済みのすべてのサービスパッケージのアンインストールの手順です。

HSPをアンインストールする：

- Windows のスタートメニューから、**設定 > アプリ**を選択します。
- **HSP Update Tool** を選択します。
- **アンインストール**をクリックします。
Windows インストーラーウィンドウが表示されます。
- **はい**をクリックして HSP のアンインストールを開始します。
アンインストールのプロセスが開始されます。

3 HSPアップデートツールの操作

この章では、ETAS ハードウェアの更新方法について説明します。

このマニュアルにおいて一般的に使用されている「更新」という語句は、ETAS ハードウェアのファームウェア用メモリに対して、PC からファームウェア（バイナリファイル）をダウンロードする処理を指します。つまり、ダウンロードされるファームウェアのバージョンが現在ハードウェア上に格納されているものと比較して新しいかどうか、ということには関わらず、ダウンロード処理そのものを「更新」と呼んでいます。

3.1 HSPアップデートツール（HSP-UT）の起動

HSP アップデートツール（HSP-UT）を起動するには、デスクトップ上の HSP-UT アイコンをダブルクリックするか、または **スタートメニュー** から **ETAS > HSP Update Tool** を選択します。プログラムが起動すると、**HSP アップデートツール** ウィンドウが開きます。以下の説明では、このウィンドウを **メインウィンドウ** と呼びます。

あるバージョンの HSP を起動すると、対応するバージョンのサービスパッケージがデフォルトとして選択され、使用されます。

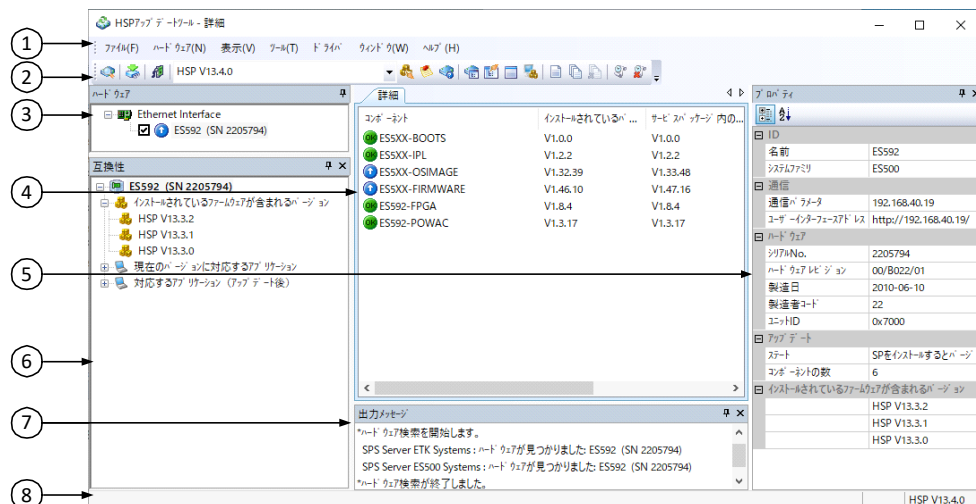
各メニューコマンドや操作ボタンの機能などについての詳細は、HSP オンラインヘルプを参照してください。



注記

エラーメッセージも表示されますが、HSP アップデートツールの起動前には、ETAS ツールがハードウェアにアクセス中でないことを確認するようにしてください。

3.2 HSPアップデートツールウィンドウ（メインウィンドウ） HSP アップデートツールウィンドウは、メインウィンドウとも呼ばれます。



- 1: メニューバー
- 2: ツールバー
- 3: ハードウェアフィールド
- 4: 詳細タブ
- 5: プロパティフィールド
- 6: 互換性フィールド
- 7: 出力メッセージフィールド
- 8: ステータスバー

3.3 更新の手順

HSP アップデートツールでのファームウェアの更新は、以下のような手順で行います。

1. 更新するハードウェアを PC に接続し、電源を接続します。



注記

更新処理中には、ハードウェアの電源を切ったりイーサネットケーブルを切り離したりしないでください！

2. ハードウェアにインストールする HSP バージョンまたは LABCAR-FWP バージョンを選択します。
3. **ハードウェア > 検索**をクリックしてハードウェアの検索をします。
4. 表示された各ハードウェアの状態を確認し、更新を行うハードウェアシステムを選択します。
5. **ハードウェア > アップデート実行**をクリックして、更新処理を実行します。
6. ハードウェアの検索を行った後は、検索されたハードウェアシステムにロードされている現在のファームウェアのステート（バージョンの状態）を確認できます。



注記

HSPを起動したままにしていると、他のETASアプリケーションの動作に影響を与える場合があります。

3.4 ファームウェアの状態の文書化

HSP アップデートツールは、2種類のログファイル（"ファームウェアステートログファイル"と"ファームウェアヒストリログファイル"）を自動生成し、各ファームウェアの現在の状態と、実行された更新操作の履歴を記録します。

ログファイルは HSP アップデートツールのメニューコマンドから任意に開くことができます。またこれらのファイルはテキストファイルなので、Windows のメモ帳などで開いて印刷することができます。

3.4.1 ファームウェアステートログファイル

このファイルは、ハードウェアごとに生成され、ファームウェアの現在の状態や、実行された更新シーケンスの内容が保存されます。これによって、更新前後のファームウェアバージョンを確認することができます。

ファームウェアステートログファイル (Firmware State Log File) は、HSP のインストール後、最初にハードウェアの検索が行われた時に自動生成されます。その後は、新たにハードウェアの検索が行われるたびに上書きされ、それ以前の情報は削除されます。検索に続いて更新処理が正常に行われると、その処理内容が、検索時の情報に続けて書き加えられます。

HSP を再起動した時には、前回正常終了した更新処理についての情報が、このログファイルに残っています。

3.4.2 ファームウェアヒストリログファイル

このファイルには、正常に実行されたファームウェア更新処理の履歴が順に記録されます。

ファームウェアヒストリログファイル (Firmware State History Log File) は、HSP のインストール後、最初に更新処理が行われた時に自動生成され、ファームウェアステートログファイル内のバージョン情報がすべて記録されます。ファームウェアステートログファイルが新たに書き込まれるたびに、その内容が自動的にファームウェアヒストリログファイルの先頭に書き加えられます。

必要に応じて、このファイルの内容を消去することができます。ファイルのサイズには制限があり、500KB に達すると、自動的に最も古い情報から順に消去されます。

3.5 ドライバのインストール

HSP では、USB ドライバを必要とするすべてのデバイス向けの USB ドライバを取得できます。

ハードウェアに接続する前に、まずは USB ドライバをインストールすることをおすすめします。ダウンロードは、メインウィンドウの**ドライバ**メニューから行えます。

例：



4 一般的なトラブルシューティング

この章では、個々のソフトウェアやハードウェアに依存しない一般的な問題が発生した場合の対処法について説明します。

下記の操作説明に使用している画面は、Windows 10の環境で取得しています。使用しているWindowsのバージョンによって、若干手順や画面が異なる場合があります。ご了承ください。

4.1 ハードウェア用のネットワークアダプタを確認する方法

Windowsのタスクバーの検索ボックスに「ネットワーク」と入力し、以下の項目を選択してください。

ネットワークの状態の確認 > イーサネット > アダプターのオプションを変更する



アダプタが複数表示された場合、どちらをETASハードウェア用に使用するかを決定するかの判断が難しいケースもあります。

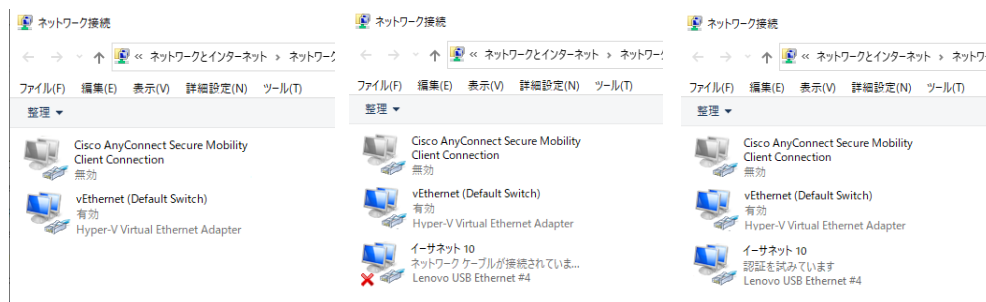
下の3つの画像は、左から右の順に”イーサネット10”という名前のLenovo USBイーサネットアダプタの状態を表しています。

1. USBポートへの接続がされていない状態
2. USBポートに接続されているがハードウェアには未接続である状態
3. USBポートおよびハードウェアへ接続済みの状態

ETASハードウェアとイーサネットコネクタを繋ぐケーブルを外し、再度接続すると、使用中のネットワークアダプタのシンボル表示が変化します。

シンボルの表示が変化しない場合は、ネットワークカードが認識されているかを確認してください。

ネットワークアダプタが、USBイーサネットアダプタのように抜き差しできる場合は、USBポートから一旦引き抜いたあと、再度接続しなおしてください。イーサネットのアイコン画像が表示され、そこにネットワークケーブル未接続である旨が表示されます。



4.2 イーサネットが認識され動作しているかの確認方法

デバイスマネージャーとネットワーク接続ウィンドウで、ネットワークカードがOSに認識され、動作しているかを確認してください。

1) デバイスマネージャーの表示方法：Windowsのタスクバーの検索ボックスに「デバイスマネージャー」と入力し、デバイスマネージャーを表示します。

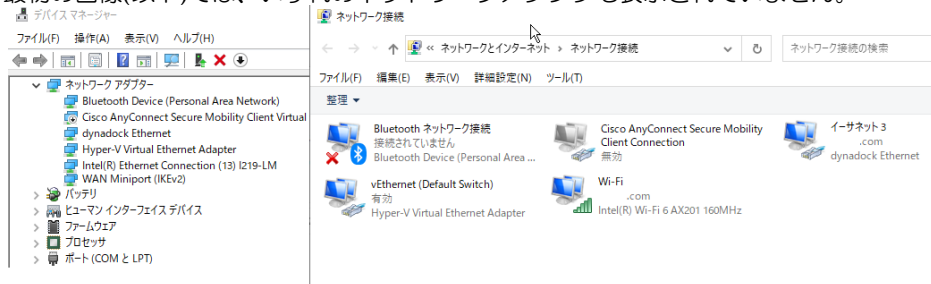
2) ネットワーク接続の表示方法：Windowsのタスクバーの検索ボックスに「ネットワーク」と入力し、以下の項目を選択します。

ネットワークの状態の確認 > イーサネット > アダプターのオプションを変更する

下の例では、次の2つのUSBイーサネットアダプタが使用されています。

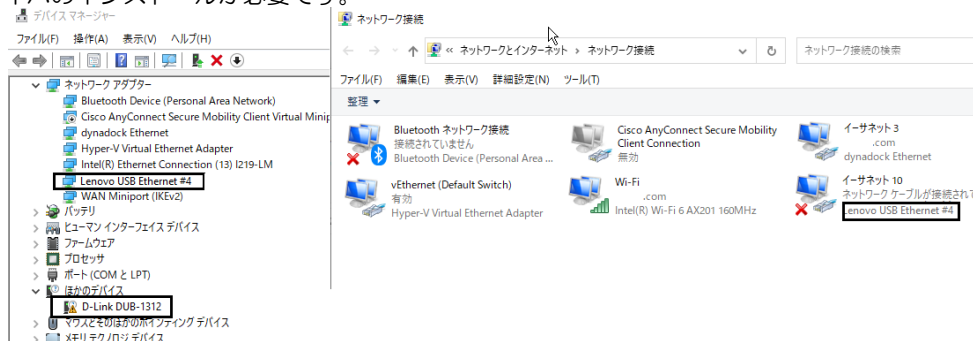
- ドライバがインストールされ、正常に動作している Lenovo
- ドライバ未インストールのため選択不可の D-Link

最初の画像(以下)では、いずれのネットワークアダプタも表示されていません。



次の画像では、Lenovoアダプタが、**ネットワークアダプター**欄に表示されています。一方で、D-Linkアダプタは、ほかの**デバイス**欄の下に表示され黄色のシンボルがデバイス名の先頭に表示されています。

ネットワーク接続ウィンドウで、Lenovoアダプタは選択可能になっていますが、D-Linkアダプタは表示されていないため使用できません。D-Linkアダプタを使用するには、ドライバのインストールが必要です。



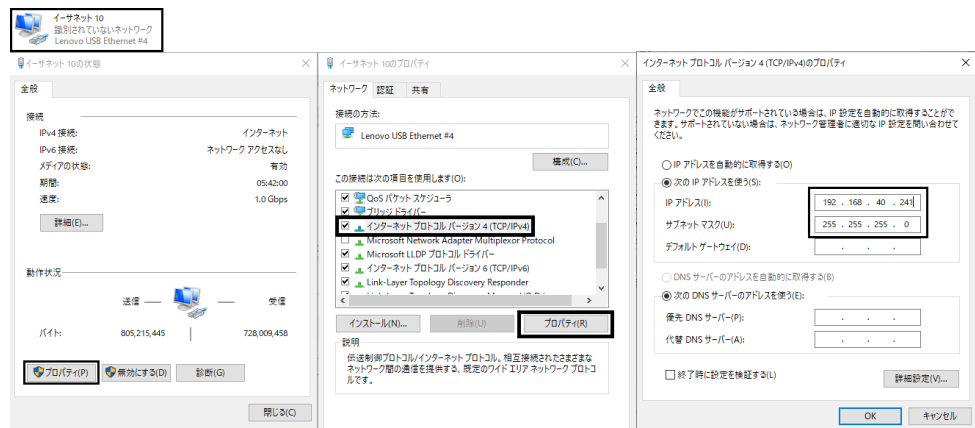
4.3 ネットワークアダプタの設定を確認する方法

使用するアダプタにIPアドレス範囲の設定が正しく行われているかを確認します。

例:

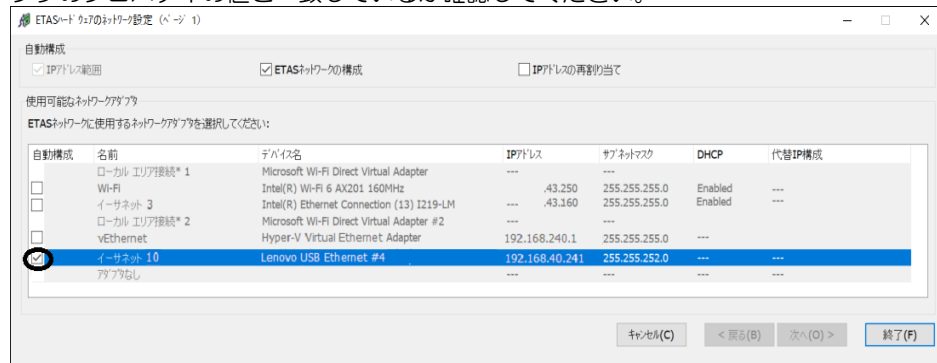
IPアドレス：192.168.40.240 または 192.168.40.241

サブネットマスク：255.255.255.0



4.4 ETASネットワーク設定を確認する

使用するイーサネットアダプタにチェックが入っていて、IPアドレスがネットワークアダプタのプロパティの値と一致しているか確認してください。

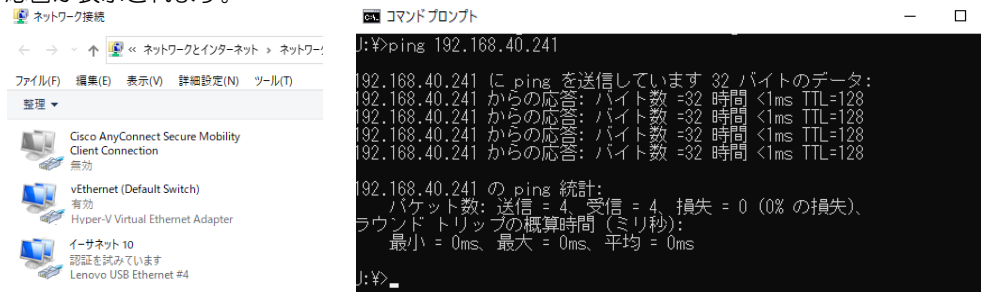


4.5 Pingコマンドでネットワークカードの接続確認をする

未接続のハードウェアに関するエラーメッセージが表示されないよう、ネットワークカードがハードウェアに接続されているか確認します。

Windowsのタスクバーの検索ボックスに”cmd”と入力し、コマンドプロンプトを表示させ、”ping 192.168.40.241”を入力します。

応答が表示されます。



4.6 Pingコマンドでハードウェアの接続確認をする

未接続のハードウェアに関するエラーメッセージが表示されないよう、ハードウェアとの接続が確立されているかを確認します。

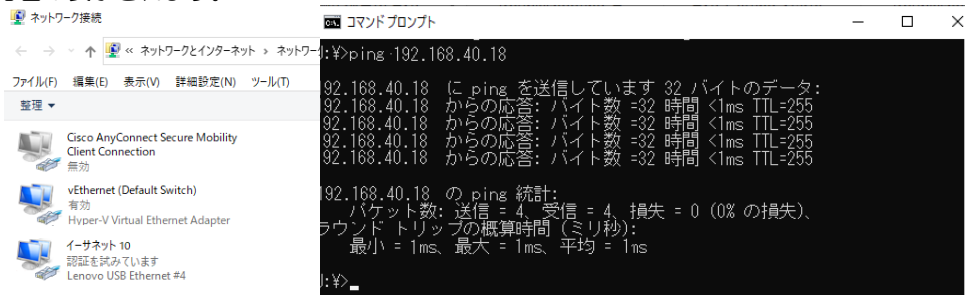
Windowsのタスクバーの検索ボックスに”cmd”と入力し、コマンドプロンプトを表示させます。

”ping”に続いて、使用するハードウェアのIPアドレスを入力します。

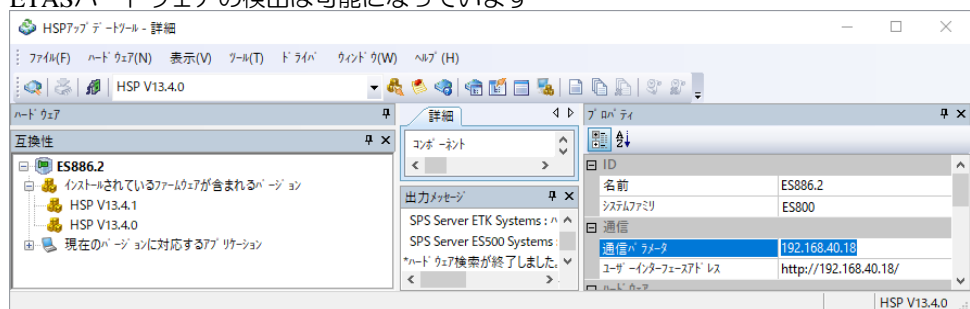
例:

ping 192.168.40.18

応答が表示されます。



正しい応答が帰ってきた場合は、ハードウェアとの接続は確立できていて、HSPからのETASハードウェアの検出は可能になっています



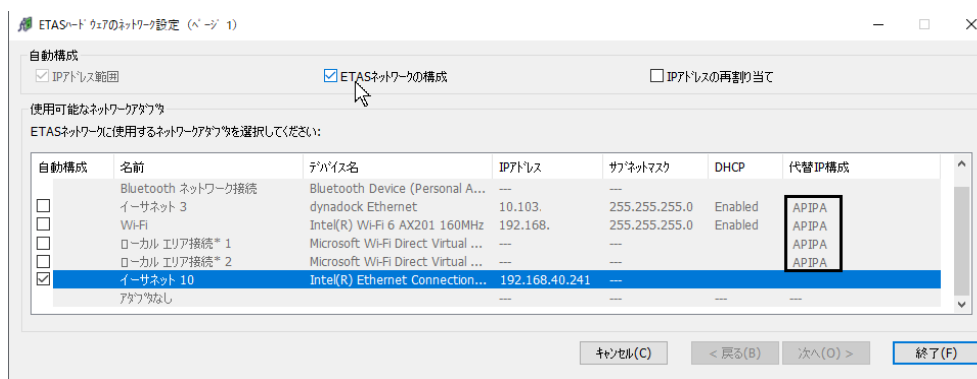
もし、HSPがハードウェアの検出をできない場合は、以下の原因が考えられます。

- ネットワークマネージャの設定が正しく行われていない
- ファームウェアにエラーがあり、基本的な機能にしか対応できていない
- ハードウェアのIPアドレスが異なる

4.7 APIPAが表示されない

APIPAは、レジストリの設定が正しく行われた時だけ表示されます。

詳しくは、18ページの「ネットワークマネージャでネットワークアダプタを選択できない」を参照してください。



4.7.1 ネットワークマネージャでネットワークアダプタを選択できない

原因 : APIPA が無効になっている

IPアドレス割り当ての代替メカニズムのひとつであるAPIPAは、すべてのWindowsシステム環境において通常は有効に設定されています。ただし、ネットワークのセキュリティポリシーによりAPIPAが無効になっている場合があります。このような場合、DHCPに設定されたネットワークアダプタ(ネットワークカード)を使用してETASハードウェアにアクセスすることはできません。そのアダプタを選択した場合、ETASネットワークマネージャに警告メッセージが表示されます。

APIPAは、Windowsレジストリを書き換えることによって有効にできます。

レジストリの書き換えをするには、管理者権限が必要です。また、事前にネットワーク管理者にご相談のうえ実施するようにしてください。

APIPAを有効にする:

- レジストリエディターを表示する
- Windows のタスクバーの検索ボックスに regedit と入力しレジストリエディターが表示されたら、**開く**をクリックします。
レジストリエディターが表示されます。
- 次のフォルダを開きます。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Tcpip\Parameters\
- **編集 > 検索** の順にクリックし、以下のキーを検索します。
IPAutoconfigurationEnabled

レジストリ内にこのキーが見つからない場合は、お使いのシステム上でAPIPAは有効になっています。このキーが存在する場合のみ、以下の手順でAPIPAを有効にしてください。

- IPAutoconfigurationEnabled キーの値を "1" に設定する。
Windows のレジストリ内に、この名前のキーが複数含まれている場合があります。これらは一般的な TCIP/IP サービス用のものと、個別のネットワークアダプタ用のものです。ETAS ネットワーク用に使用するアダプタの値だけ変更してください。
- レジストリエディターを閉じます。
- 変更内容を適用させるために、PC を再起動します。

4.7.2 イーサネットハードウェアの検出に失敗する

原因 : ETAS ハードウェアが応答していない

何らかの理由で、ETASハードウェアが応答しないときがあります。ハードウェアの電源を切って再度投入し、再初期化を行ってください。

原因 : ETAS ハードウェアがスリープモードになっている

一部のETASの機器は、他のデバイスやPCからの接続がないとき、省電力のためスリープモードに切り替わります。

スリープモードに切り替わらないようにするためには、お使いのコンピュータからイーサネットケーブルをハードウェアの**HOST/Sync In** ポートに接続して、ハードウェアの起動後に、Web インターフェースからハードウェアにアクセスし、スリープモードに切り替わらないように設定を変更してください。詳細な手順については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。

原因 : ETAS ハードウェアが他の論理ネットワークに接続されている

1つのETASハードウェアに複数のPCを使用してアクセスしている場合、ネットワークアダプタが同じ論理ネットワークを使用するように設定されているか確認してください。この設定を行うことができない場合は、ETASハードウェアの電源を切り、一度セッションを終了させたあと、再度電源を投入してください。

原因 : ネットワークカード用のデバイスドライバが起動していない

ネットワークカードのデバイスドライバが起動していない可能性があります。ネットワークカードを一度無効にしたあと、再度有効にしてください。

原因 : ラップトップ PC の電源管理オプションによりネットワークカードが無効になっている

ラップトップPCの電源管理オプションの設定によってネットワークカードが無効になっている場合があります。ラップトップPCの電源管理オプションの設定を変更してください。

ラップトップPCの電源管理を無効にする:

- Windows のスタートメニューから以下のメニューを選択します。
 - **スタートメニュー**を右クリックし、表示された一覧から**デバイスマネージャー**をクリックします。
 - デバイスマネージャーのツリー表示で、**ネットワークアダプター**をクリックして表示を展開します。
 - 使用中のネットワークアダプターを右クリックし、表示されているメニューから**プロパティ**をクリックします。
 - **電源管理**タブを選択して、**コンピューターで電源を保存するためにこのデバイスの電源をオフにすることを許可する**チェックマークを外します。
 - **詳細**タブを選択し、**プロパティ**リストに "Autosense" が含まれている場合は、これを無効にします。
 - **OK** をクリックし設定を有効にします。

5 お問い合わせ先

テクニカルサポート

各国支社の営業やテクニカルサポートについての情報は、ETAS ウェブサイトをご覧ください。www.etas.com/en/hotlines.php



ETAS 本社

ETAS GmbH

Borsigstrasse 24	電話:	+49 711 3423-0
70469 Stuttgart	Fax:	+49 711 3423-2106
Germany	インターネット:	www.etas.com

索引

H

HSP-SP

→ 「HSP サービスパッケージ」

HSP-UT

→ 「HSP アップデートツール」

HSP アップデートツール 4

起動 11

HSP オンラインヘルプ 6

HSP サービスパッケージ 4

W

Window

メイン 11

あ

アンインストール 10

い

インストール 7, 8

う

ウィンドウ

HSP アップデートツール 11

メイン 11

お

オンラインヘルプ 6

こ

更新 11

さ

サポートされているハードウェア 7

し

システム要件 7

新機能 4

せ

制限事項 7

製品概要 4

製品の内容

ドキュメント 7

そ

操作方法 11

更新手順 12

と

問い合わせ先 20

ドキュメント 7

ひ

表記

規則 6

ゆ

ユーザープロファイル 6

ろ

ログファイル

ファームウェアステート～ 12

ファームウェアヒストリ～ 12